



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الاغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

LOJPR08/09- No.114

プレスリリース

FAO が モーリタニアで種子の配布を開始

500 トン以上の種子を載せたトラックが地方へ向かって出発

2008 年 6 月 13 日、ローマー500 トン以上の種子を載せたトラックがモーリタニアの首都ヌアク
ショットを 12 日出発し 6 地方都市へと向かった。これはモーリタニアにおける FAO の緊急支
援、食料価格高騰イニシアティブの開始点となった。

約 20 台のトラックが、ソルガム、ミレット、とうもろこしとササゲ豆を満載し、国内南部およ
び南東部に向かっている。平行して他の地域への配布はモーリタニア政府によって管理・実施
されることになっている。ほとんどの作物は通常 6 月に始まる雨季にあわせて直ちに作付けさ
れる必要がある。

「昨年は乾期に続き、洪水があったので農民が生産できるはずであったもののほとんどは洪水
の影響を受けた地域で消滅してしまった」とモーリタニア FAO の緊急支援調整官ルカ・フォル
ナサリは述べた。「加えて輸入食料が急騰し、農民は種子の在庫を売って食料を買うか、また
は種子を食料として使わざるを得なかった。」とフォルナサリは続けた。「種子配布は今農民
が自立するのを支援することになる。」

12 月にはミレットの価格は前年比で 50% 上昇し、ソルガムは 2 倍、とうもろこしは 60% 上
がった。価格はその後も着実に上昇を続けた。輸入小麦および米の価格は更に急上昇し、モー
リタニアの最も貧しい人々の多くが食物を買えない状態になった。

人々はこの状況に心配される方法で対応している、例えば食べる量を減したり一日一食にし
たりしている。あるものは家畜を売っているがやせ細って肉の落ちた時期で適正な価格で売
ることができない。すでに高水準の栄養不足が増えている。

現在、すべてが順調にいったという前提の下での予測でも、モーリタニアでは食料需要の 3
0% を満たすにも足りない食料しか生産できない。政府は農業生産の倍増を目標とし、次の作
期には食料需要の 60% に対応する生産高を目指している。農業はいまでも国民の最貧層の 7
0% 以上の収入源となっている。

支援が必要なのは種子だけではない

モーリタニアは広大な砂漠国で、農業は 0.5% しかない食料生産耕作可能地の開発利用に依
存している。より恒常的な基盤で農業生産を拡大するには、灌漑システムを復興し、また、拡
大することが最も可能性がある、と FAO モーリタニア事務所長ラディサヴ・パヴロヴィックは
述べた。

「我々は農業に利用できる 50 万ヘクタール (ha) のうち、灌漑可能なのはセネガル川溪谷の 14 万ヘクタール (ha) にすぎないということを考慮する必要がある。そのうち、現在すでに何らかの形の灌漑が設置されているのは 4 万 5 千 ha にすぎない。」とパヴロヴィックは述べた。

「しかし、設備の老朽化と維持されていない水路により実際に灌漑されている土地は 1 万 5 千ヘクタール、約 11 % にしかすぎない。」とパヴロヴィック氏は加えた。

投資家が関心を示し始める

「短期的には、自給は非現実的かもしれない、しかし 50 – 60 % の地域生産の増加はかなり確率で達成できる」と FAO エコノミストのジャック・ストレベルは述べた。今日配布されている種子はほんの緊急応急対策にすぎない。

「民間のモーリタニアの投資家たちには、例えば、もうここ何年も農業への投資は利益があがらなかった。今では農業がもうかることになり、投資家たちも関心を示すだろう」とストレベルは述べた。

これは、例えば、セネガル川溪谷での稲作に投資する新たな機会を創出した。その他降雨依存型農業が行われている地域では、農業用ダム、水路、水ポンプへの投資により水の貯蔵が大幅に改善できる、とストレベルは述べた。加えて降雨依存型地域では種子の開発、貯蔵を強化することにより、種子供給量の増大や生産の多様化を助長することができる。

FAO の食料価格高騰イニシアティブはまたセネガル、ブルキナファソ、およびハイチで今期実施されている。そして東チモールとモザンビークでも今後数週間で活動が始まる予定である。FAO は現在食料価格高騰イニシアティブを独自の財源の中から 1700 万ドルを投じて行っている。これは、作付けがまだ可能な国で緊急活動を始めるためである。

70 カ国以上が 10 月、11 月の今期の作付けおよび来春の作付けのための FAO の支援を求めている。FAO の事務局長ジャック・ディウフは食料価格高騰イニシアティブを完全に支援するためには 17 億ドルが必要としている。

英文 URL <http://www.fao.org/newsroom/en/news/2008/1000865/index.html>